

令和6年度使用教科用図書の採択について

標題の件について、次のとおり教育委員会の議決を求める。

令和 5年 7月27日

富田林市教育委員会
教育長 植野 均

1. 内容

別添のとおり

2. 参考資料

富田林市立小学校教科用図書選定委員会答申
「令和6年度使用 教科用図書選定資料 小学校用」

令和5年7月27日

富田林市教育委員会
教育長 植野 均 様

富田林市立小学校
教科用図書選定委員会
委員長 古村 勝俊

令和6年度使用小学校教科用図書の選定について（答申）

本選定委員会は、平成5年4月教育委員会会議において、諮問のありました「令和6年度使用小学校教科用図書」の選定について審議を進め、その結論を得ましたので、別添「選定資料」を添付し、答申いたします。

令和6年度使用

教科用図書選定資料

小学校用

国語	1
書写	2
社会	3
地図	4
算数	5
理科	6
生活	7, 8
音楽	9
図画工作	9
家庭	10
保健	11
英語	12
道徳	13

※教科書の配列順は発行者番号順

国語

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい国語	教育出版	ひろがる言葉 小学国語	光村図書	国語 かざぐるま など
項目	所見		所見		所見	
目標 の取扱い 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を通してつけた力が「言葉の力」として示され、また、巻頭・単元の冒頭にまとめられている。 ・「取り組む」「振り返る」の中に学習の進め方とつけた力が明記されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「ひろがる言葉」で、どのような学びでどのような言葉の力をつけていくのか、一年間の見通しが持てるように、まとめられている。 ・単元の中に「ここが大事」が設けられ、単元で身に付けた力が他の単元や他教科にも生かせるよう取り扱われている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「どうやって学んでいくのかな」に、どの教科、どの教材でも使える学びを深める学習の進め方と、発言の言葉の例が示されている。 ・自分の問いをもって、目標を設定する学習の進め方が示されている。 	
人権 の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「いろいろな伝え方」で手話と点字の学習がある。 ・挿絵が、ユニバーサルデザイン(国籍・性別に偏りが無い)となっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・外国の民話や外国を舞台にした物語など、国際理解につながる教材がある。 ・挿絵が、ユニバーサルデザイン(国籍・性別に偏りが無い)となっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵が、ユニバーサルデザイン(国籍・性別に偏りが無い)となっている。 ・外国の民話や外国を舞台にした物語など、国際理解につながる教材がある。それと共に、日本の文化や自然のよさを感じられる教材が多く見られる。 ・個性豊かな登場人物が描かれている。 	
発達 段階 への 考慮	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の一環として「未来へ生きる君へ」の教材が入っている。(3年以上) ・習得の難しい特殊音節や助詞の学習では、不要なつまづきをさせないために、「多層指導モデルMIM」の指導を取り入れ二次元コードから学習に取り入れられるようになっているなど、低学年の文字指導が工夫されている。 ・3年上で一番初めに出てくる物語教材「すいせんのラッパ」は、読みやすいように改行が工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・説明文の学習に練習教材がある。 ・1年生は、文節単位で改行し、文脈の中での意味のまとまりが理解しやすいように配慮されている。 ・3年下「電話のかけ方」について学ぶページが設けられている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「季節の言葉」にも挿絵が採用されており、語彙の獲得につながる。 ・登場人物の表情から心情を読み取りやすいように挿絵が工夫されている。 ・低学年では、視覚支援が多く採用されており、読むことが苦手な児童への配慮も感じられる。 ・自分自身の目標・振り返りを書くところがあり、主体的な学びをすすめられるようになっている。 	
組織 配列	<ul style="list-style-type: none"> ・「書く」の領域では、調べたことをまとめたり、それを発表したりする活動を通して、他の領域とも関連するよう配列されている。 ・「情報のとびら」が「読むこと」と「書くこと」の単元の間に設けられており、情報の取り扱い方に関する事項を系統立てて示されている。 ・指導すべき内容が、教科横断的な視点を踏まえて配列されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容によって、領域が分かりやすいように色分けされたインデックスが採用されている。 ・指導すべき内容が、教科横断的な視点を踏まえて配列されている。 ・上巻・下巻ともに学習を振り返る機会が設けられている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に前学年の分と共に観点別学習内容表があり、学びのつながりがわかりやすい。 ・「本の世界をひろげよう」などで、たくさんの本が紹介されている。図書館を活用する学習が充実している。 ・「この本読もう」で紹介した本の中から一作品を「読んでみよう」で紹介している。 ・指導すべき内容が教科横断的な視点を踏まえて配列されている。 ・「書くとき」「発表するとき」など、例文が提示されている。 	
学び 方の 工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「書く」の単元で、思考ツールが活用されている。 ・大事な言葉などフォントを変えて、読みやすくしている。 ・情報機器や学校図書館を活用することについて適切に取りあげられている。 ・漢字ノートやデジタルノートの作り方やの進め方が示されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県漢字の学習を日本地図と共に学ぶなど、他教科とリンクさせている。 ・言葉による見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県漢字の学習が2回にわけてられており、無理なく学習できる配慮がされている。 ・「読む」「書く」だけでなく、「言葉」・「話す・聞く」の教材も「問いをもとう」を設定されており、一人ひとりに問いがうまれるように工夫されている。 ・「書くときに使おう」が設けられ、他の単元に生かすことができる。 	
補 充 的 な 学 習	<ul style="list-style-type: none"> ・単元学習後の読書紹介では、同一著者の別作品が紹介されている。 ・二次元コードから、学習に関連する写真や動画などを見ることができ、文字情報だけではなくサポートがされている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・高学年も上下巻の分冊になっており、児童への負担軽減の配慮と、分冊による付録の充実が見られる。 ・物語文の作者説明のほか、絵を描いた人の説明も書かれている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・巻末付録に「伝えあう言葉」「言葉のたから箱」が提示され、よく使われる言葉を「学習に用いる言葉」として、整理されている。 ・巻末に設けられた「たいせつ」のまとめで、学習の大切な点がまとめられ、学習の振り返りができるように構成されている。 ・「図を使って考えよう」を設け、思考ツールと思考を表す表現がまとめられている。 	

書写

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新編 新しい書写	教育出版	小学書写	光村図書	書写
項目	所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に定める目標達成のため学ぶべき内容が身につく、かつ効果的な学習が進められるよう、系統的・発展的に取り扱われている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に定める目標達成のため学ぶべき内容が身につく、かつ効果的な学習が進められるよう系統的・発展的に取り扱われている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に定める目標達成のため学ぶべき内容が身につく、かつ効果的な学習が進められるよう、系統的・発展的に取り扱われている。 	
人権の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 教科書に登場する人物の男女比が、ほぼ均等になるように配慮されている。 世界の文字や、障がいのある人の作品を取り上げる等、人権への配慮がなされている。 左手で文字を書く児童にも、えんぴつ・筆の持ち方の写真や、動画につながる二次元コードが掲載される等により、配慮されている。 ユニバーサルデザインに関して、フォントや文字の大きさ、デザイン等により配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 教科書に登場する人物の男女比が、ほぼ均等になるように配慮されている。 世界の文字や、SDGsについて取り上げる等、人権への配慮がなされている。 左手で文字を書く児童にも、えんぴつ・筆の持ち方の写真や、動画につながる二次元コードが掲載される等により、配慮されている。 ユニバーサルデザインに関して、フォントや文字の大きさ、デザイン等により配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 教科書に登場する人物の男女比が、ほぼ均等になるように配慮されている。 世界の文字や、SDGs、アイヌ民族、ジェンダー平等について取り上げる等、人権への配慮がなされている。 左手で文字を書く児童にも、えんぴつ・筆の持ち方の写真や、動画につながる二次元コードが掲載される等により、配慮されている。 ユニバーサルデザインに関して、フォントや文字の大きさ、デザイン等により配慮されている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じて題材ごとに学習のめあてや学習内容が分かりやすく示されている。 お手本が原寸大で、基本点画が分かりやすく示されている。 1、2年生では、点画の書き方の特徴を動物の動きと擬態語を使って表現され、児童が理解できるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じて題材ごとに学習のめあてや学習内容が分かりやすく示されている。 お手本が原寸大で、基本点画が分かりやすく示されている。 1、2年生では、点画の書き方の特徴を動物の動きと擬態語を使って表現され、児童が理解できるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じて題材ごとに学習のめあてや学習内容が分かりやすく示されている。 お手本が原寸大で、基本点画が分かりやすく示されている。 1、2年生では、点画の書き方の特徴を動物の動きと擬態語や擬音語を使って表現され、筆使いを直感的に児童が理解できるように工夫されている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 各単元は、「みつけよう」「確かめよう」「生かそう」「ふり返ろう」という構成になっている。 毛筆で学習した内容を硬筆で生かすことができるよう工夫されている。 他教科と関連付けた文字の学習が取り入れられ、教科横断的な学習が充実するよう配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各単元は、「考えよう」「ここが大切」「生かそう」「ふり返ろう」という構成になっている。 毛筆で学習した内容を硬筆で生かすことができるよう工夫されている。 他教科と関連付けた文字の学習が取り入れられ、教科横断的な学習が充実するよう配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各単元は、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という構成になっている。 毛筆で学習した内容を硬筆で生かすことができるよう工夫されている。 他教科と関連付けた文字の学習が取り入れられ、教科横断的な学習が充実するよう配慮されている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 個別最適な学びが実現するよう「とめ、はね、はらい」などをイメージしやすいようなイラストや書き方に関する動画につながる二次元コードがあったり、協働的な学びが実現するようお互いの作品を見合い意見を伝え合ったりするよう工夫されている。 正しい姿勢で学習できるよう「しよしゃたいそう」を取り上げる等工夫されている。 用具の置き方・準備・筆のおろし方・持ち方・後始末が3～6年まで丁寧に説明されている。 教科書に硬筆で書きこめる。 1、2年に水書用紙が付いている。 ICTの活用については、「コンピューターを学習に生かそう」で二次元コードの使い方が示されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 個別最適な学びが実現するよう「とめ、はね、はらい」などをイメージしやすいようなイラストや書き方に関する動画につながる二次元コードがあったり、協働的な学びが実現するようお互いの作品を見合い意見を伝え合ったりするよう工夫されている。 正しい姿勢で学習ができるよう良い姿勢の合言葉を取り上げる等工夫されている。 用具の置き方・準備・筆のおろし方・持ち方・後始末が3～6年まで丁寧に説明されている。 教科書に硬筆で書きこめる。 1、2年に図形のついた水書用紙が付いている。 ICTの活用については、学習に役立つ情報にリンクする「まなびリンク」やタブレット等を使う時の姿勢が示されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 個別最適な学びが実現するよう「とめ、はね、はらい」などをイメージしやすいようなイラストや書き方に関する動画につながる二次元コードがあったり、協働的な学びが実現するようお互いの作品を見合い意見を伝え合ったりするよう工夫されている。 正しい姿勢で学習できるよう「しよしゃたいそう」「せいらたいそう」を取り上げる等工夫されている。 用具の置き方・準備・筆のおろし方・持ち方・後始末が3～6年まで丁寧に説明されている。 教科書に硬筆で書きこめる。 1、2年にマス目のついた水書用紙が付いている。 ICTの活用についてはタブレットを使う際の姿勢が示されているとともに「タブレットを活用しよう」では、二次元コードを読み取り、書き方をたしかめるように促したり、さまざまな資料にリンクすることが示されたりしている。 	
発展的な学習・補充的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名・片仮名・漢字・ローマ字の表があり、学習の内容を振り返ることができる。また、「文字といっしょに」のコーナーなどにおいて、様々な観点から文字文化を取り上げた資料やコラムが掲載されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 平仮名・片仮名・漢字・ローマ字の表があり、学習の内容を振り返ることができる。また、「知りたい文字の世界」のコーナーなどにおいて、様々な観点から文字文化を取り上げた資料やコラムが掲載されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 平仮名・片仮名・漢字・ローマ字の表があり、学習の内容を振り返ることができるとともに、書き方、書き順等が確認できる動画につながる二次元コードがある。また、「もっと知りたい」のコーナーなどにおいて、様々な観点から文字文化を取り上げた資料やコラムが掲載されている。 	

社会

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新編 新しい社会	教育出版	小学社会	日本文教出版	小学社会
項目	所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の目標・内容の取扱いに準拠し内容をもれなく扱い、適切に単元を構成・配列している。 防災・安全、国際理解、主権者教育をはじめとした今日的な課題への取り組みが取り上げられている。 重要な用語を「ことば」として側注欄で説明している。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の目標・内容の取扱いに準拠し内容をもれなく扱い、適切に単元を構成・配列している。 社会の変化や課題に自ら対応していく資質や能力を育むために、問題解決的な学習ができるように構成されている。 社会の多様性やSDGs、防災安全教育など今日的課題について学習ができるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の目標・内容の取扱いに準拠し内容をもれなく扱い、適切に単元を構成・配列している。 問題解決的な学習ができるような教科書の構成になっている。 キーワードや重要語句が太字で示されている。 	
取人権の扱い	<ul style="list-style-type: none"> 6年生の歴史編では、厳しく差別されてきた人々のことや、女性の権利獲得に向けての動き、朝鮮人の強制労働について記載がある。 琉球王国や蝦夷地について、興味関心をもって日本の歴史についてさらにひろげることができるように取り扱われていると同時に今日的な社会課題についても学習できるようになっている。 3年生「店ではたらく人」の単元では、身体の不自由な人にも配慮した店づくりをしていることに気付かせる内容となっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 6年の歴史編では、厳しく差別されてきた人々のことや、女性の権利獲得に向けての動き、朝鮮人の強制労働について記載がある。 龍安寺の庭園、解体新書、渋染一揆、全国水平社宣言では写真やイラストも添えてあり、視覚的にも歴史学習をする中で「差別」に気づく事ができるように取り扱っている。 4年生「国際交流がさかんなまちづくり」では海外の人とどのように交流していくのか、また交流する上で何を大切に組み組めばよいのかを考える機会を設定している。 3年生では、「店ではたらく人々」や公共施設の学習で障がいのある人や高齢者の立場に立った考え方ができるように促している。 		<ul style="list-style-type: none"> 6年生の歴史学習では、龍安寺の庭園、解体新書、渋染一揆、全国水平社宣言では、写真やイラストは大きく、多く取り上げられている。 6年生の「世界のなかの日本とわたしたち」では考えたい問題として世界の人々とのつながりを平和的に理解し合うためにはどうしたらよいのかという今日的な教育課題について学習できるようになっている。 	
発達段階への考	<ul style="list-style-type: none"> UDフォントを使用することで誰でも読みやすいように作成されており、資料には見開き単位で番号がふられているため、見やすい紙面になっている。 3年生では、身近なことから学習への動機付けを行えるよう工夫をしている。 6年生では、政治や歴史の学習において、児童がより身近に感じ学習に入りやすくする工夫がされている。 		<ul style="list-style-type: none"> UDフォントを使用することで、誰でも読みやすいように工夫され、さらに本文が文節で改行が行われていることで読みやすい構成になっている。 3年生では、生活科からの接続、段階を踏んだ展開に配慮した単元構成になっている。また、関心が高まりやすい工夫がされており、見開きに描かれたイラストなど児童が興味を持ちやすい資料を掲載している。さらに、1時間でどのような学習活動をするのか一目で分かる工夫もあり、見通しが立てやすくなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> UDフォントを使用するとともに本文のフォントを大きくすることで誰でも読みやすくなり、見開きで中心資料が大きく示されていることにより誰にでも見やすい配置となっている。 3年生では、生活科の学習から無理なくステップアップできるよう必要な技能を確実に身につけられるコーナーや資料を充実させている。 6年生では、日本の政治、歴史、世界の国々について身近な教材を提示し、自分ごととして学べるような構成になっている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習を展開できるように「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」で構成されている。また、それらが、全ページにわたり記載されており、単元の流れを意識して学習できる構成になっている。 5年生の食料生産では、児童が興味のある給食や広告から導入され、その写真も大きく提示されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習を展開できるように「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」で構成されている。また、それらにより、単元の流れを意識して学習できる構成になっている。 見開き右ページ下部に「次につなげよう」というコーナーを掲載しており、各時間の問いが繋がりが、単元を通して一貫した追究ができる。 キャラクターの会話により、既習事項を想起させたり、考え方のヒントを得やすくしたりするものとなっている。 歴史の学習では、時代ごとに年表がページの端に提示されており学習している時代を把握しやすいようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分たちにできることを考える場面では、漫画が活用されていて、考えを深めやすい工夫がされている。 各学年の終わりでは、次の学年の学習を見通すことができ、次への期待感を高めることができる工夫がされている。 4年生「水・ガス」、5年生「工業・情報・環境・2025日本国際博覧会」、6年生「歴史導入」の学習では大阪の教材が取り上げられており、児童の興味を引く内容となっている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 「社会的な見方・考え方」を広がり・時間・関わり・まとめるなど、どの観点を働かせて考えるのかキャラクターが投げかけてくれることで、学びが深まる仕組みになっている。 歴史の学習では、時代ごとに年表がページの端に提示されており学習している時代を把握しやすいようにしている。 5年生と6年生の教科書が2冊に分かれており、持ち帰って学習しやすいように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 6年生の導入がオリンピック・パラリンピックであり、うまく憲法の学習につなげているので、自然に日本国憲法に興味を湧かすように工夫されている。 6年生の「世界の中の日本」の単元では、教科書の右側にインデックスのように色分けがされており、見やすくわかりやすい仕様となっている。 二次元コードを読み取ることで、内容が視覚的に分かりやすくなるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> それぞれの単元、ページで関係のあるSDGs目標を貼ることができるように、教科書の最後のページに17の目標がシールになっており、学習の振り返り時に目標も一緒に考える事のできるような仕組みとなっている。 児童達が使い慣れているタブレットで、二次元コードを読み取る事でより深く学ぶことができるよう工夫されている。 	
補充的な学習・発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 「いかす」では、学習したことをいかして社会的な事柄に参画したり、提案・発信したりする学習場面が設けられている。 学習指導要領に選択的に例示されている事例について、発展や比較、補充など柔軟に扱うことができる「ひろげる」がある。 二次元コードを読み取ることで、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 「つなげる」では、地域や社会の課題に対し、自分ができることを考える場面が設定されており、自らが主体的に社会に参加する必要性を感じる内容となっている。 「もっと知りたい」では、工業と資源の関係やその時代の日本と世界の関わりなど児童の関心や意欲に応じて活用できる。 教科書の終わりには、その学年での学びを振り返ったり、SDGsと繋げて考えたりするためのページがある。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分たちにできることを考える場面では、児童が互いに話し合い聞き合うことを大切にしており、多面的な思考や理解へと学びを深める内容となっている。 各単元の終わりにはSDGsと繋げて学びを深めるページがある。 二次元コードを読み取ることで、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 	

地図

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名
		東京書籍	新編 新しい地図帳	帝国書院
項目	所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標達成のため、地図を効果的に活用し、国土に対する地理的理解や社会生活への理解を深める学習を進められるよう配慮している。 日本の位置や範囲、領土問題、自然災害と防災について理解を図ることができるようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の目標や内容をふまえ、国土の正しい理解を通じて領土、領海、排他的経済水域などについて知らせている。 持続可能な社会の実現をめざす視点を養えるよう配慮している。 自然災害について知り、防災マップの作り方を考えること等、主体的に防災意識を高められるようにしている。 	
取人扱権いの	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードからSDGsの目標について知ることができる。また、動画で現状を学ぶことができる。 世界地図のページでは動物や食文化を写真やイラストと共に掲載しており、国の特徴や文化について考えることができる構成になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 外国語の挨拶や世界の子どものたちの生活、SDGsへの取組みが写真と共に掲載されており、国際理解を進めることができる内容になっている。 二次元コードからSDGsの目標について知ることができる。また、動画で現状を学ぶことができる構成になっている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> 3年生からの使用をふまえ、地図の仕組みと約束事が解説されている。 親しみやすいキャラクターで地図活用の手がかりを児童の言葉で提示している。 		<ul style="list-style-type: none"> 初めて地図を使う児童に対し、地図のやくそくや使い方はわかりやすく説明されている。また、索引の引き方など、二次元コードを読み取ることで視覚的により理解しやすいように作られている。 児童の発達段階に応じた地図表現、配列を工夫している。 社会科教科用図書と同じ形式の見出しと会話形式の本文を用いていて分かりやすい。 6年の歴史学習でも活用できるよう、テーマ地図や世界遺産のページを設けている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 地図についての学習ページが最初に記載されている。また、漫画での説明になっており、読み進める工夫が見られる。 土地の使い方が細かく色分けされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 地図についての学習ページが最初に記載されている。 土地の使い方の色分けや立体感を出すデザインが見やすく配置されている。 大阪府に関しては100万分の1から5万分の1の縮図まで、詳しく掲載されている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターが登場し、地形の特徴を説明している。 二次元コードを読み取ると、クイズやカルタがあり、楽しみながら学ぶことができる構成になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 地図の中にさまざまなイラストが載せられており、その場所の特徴などがわかりやすく作られている。 二次元コードを読み取ると、クイズやパズルがあり、楽しみながら学ぶことができる構成になっている。 	
発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> マップでジャンプという地図を使ったクイズ等がある。 地形、気候、産業、歴史、貿易、世界とのかかわり、文化、災害、国旗などの資料ページが掲載されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 地図マスターへの道というコーナーにより、学年に合わせた発展問題がある。 多様なテーマの資料が掲載されている。 児童の視点に立ったキャラクターの台詞が用いられており、児童自らが着目したり、考えたりできるように工夫されている。 	

算数

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新編 新しい算数	大日本図書	新版 たのしい算数	学校図書	みんなと学ぶ 小学校算数	教育出版	小学算数	啓林館	わくわく算数	日本文教出版	小学算数
項目	所見		所見		所見		所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成に必要な内容が盛り込まれており適切である。 既習の活用を促進する工夫、発展的に学びをつないでいく工夫がある。 数学的活動を通して、数学的な見方・考え方を働かせ対話的、協同的に学びを進めていける指導展開となっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 目標達成に必要な内容が盛り込まれており適切である。 数学的活動を取り入れ数学的な見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的に学習に取り組めるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 目標達成に必要な内容が盛り込まれており適切である。 数学的な見方・考え方を価値づけ、主体的・対話的に学習を進めていけるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 目標達成に必要な内容が盛り込まれており適切である。 数学的な見方・考え方を価値づけ、主体的・対話的に学習を進めていけるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 目標達成に必要な内容が盛り込まれており適切である。 数学的活動を取り入れ、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 より発展的に学びをつないでいけるよう展開されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 目標達成に必要な内容が盛り込まれており適切である。 数学的活動を取り入れ、数学的な見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的に学習に取り組めるよう工夫されている。 	
取人権の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 登場するキャラクターの性別を明確にせず、言葉遣いや服装などの固定的なイメージで性の区別をしていない。 活動場面で男女の比率やそれぞれの役割に偏りがなくしている。 UD教科書体を採用し更に太くして視認性を高めており、すべての児童に見やすいように配慮している。 		<ul style="list-style-type: none"> イラストや写真の人物は、男女のバランスに偏りがなくしている。 主な登場人物の6人について、人種や性別に配慮されている。 UDフォントを使用している。 カラーユニバーサルデザインをふまえた配色となるよう工夫している。 		<ul style="list-style-type: none"> 4人のキャラクターは、男2人、女2人としているが、固定的なイメージで区別することがないように配慮している。 UDフォントを使用している。 すべてのページで色覚特性についてチェックしており、見やすく区別しやすい色やデザインが使われている。 		<ul style="list-style-type: none"> 登場する6人のキャラクターは、男女のバランス等が配慮されている。 UDフォントを使用している。 カラーユニバーサルデザインをふまえて識別しやすい配色にしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 性別、人種、障がいの有無に関係なく、多様な特徴を持つ子を掲載している。 UDフォントを使用している。 すべての文章を文節で改行している。 カラーユニバーサルデザインの観点で作られている。また、色だけで判断するような情報は使用していない。 		<ul style="list-style-type: none"> 男女共生の観点から呼称が「さん」づけである。 性別による服装や役割の固定化がないように配慮している。 協同の場面では、性別、人種、障がいの有無に関係なく表現している。 UDフォントを使用している。 本文には、色文字を使わないようにして落ち着いた紙面になっている。 	
への発達段階の考慮	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の指導内容に加え「いかしてみよう」「たしかめよう」「つないでいこう」のコーナーなど、日常生活に生かす工夫がされている。 ICTを活用しアニメーションで動的・視覚的に学習内容を確認することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 児童が学習内容を振り返り定着を図るとともに、その後の学習をさらに生かしていけるよう「算数たまてばこ」「読み取る力をのばそう」「なるほど算数教室」を設けている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各学年の指導内容に加え「まなびをいかそう」「考え方モンスターでふりかえろう」では、総合的・探究的学習ができるように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 単元末の「ふり返ろう」「たしかめよう」では、ふりかえり問題と確認問題を設定し、単元の理解がされやすいように配慮されている。また「4コマ漫画」で学んだことのよさや見方・考え方を楽しく振り返られるようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 単元末の「たしかめよう」「ふりかえろう」「やってみよう」では、ふりかえり問題と確認問題を設定し、単元の理解がすすむように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 巻末の「しっかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」では、一人ひとりの学習状況に応じて、取り組む問題を選択できるように工夫されている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的内容について十分な指導ができ、その定着も図ることができるように分量が適切に配分されている。 操作活動の図が分かりやすく提示されている。 1年生の教科書の単元1がA4別冊になっている。またノート型になっており児童が教科書に記載しやすくなっている。 5年生の「単分量」の学習後に「速さ」の単元が入っているため、「単分量」の既習内容を「速さ」の学習に反映させやすく、児童たちが学習しやすくなっている。 6年生の上下巻を合本にし、一年間を見通して予習や復習ができるようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な内容が身に付くように分量が配分されている。 操作活動の図が分かりやすく提示されている。 2～6年生の上下巻を合本し、一年間を見通して予習や復習ができるようにしている。 1年生の教科書の単元1がA4別冊になっている。またノート型になっており児童が教科書に記載しやすくなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 6年生の上下巻を合本し一年間を見通して予習や復習ができるようにしている。 前の学年で身につけた見方・考え方を領域別にまとめている。 		<ul style="list-style-type: none"> 5・6年生の上下巻を合本し、一年間を見通して予習や復習ができるようにしている。 5年生の「単分量」の学習後に「速さ」の単元が入っているため、「単分量」の既習内容を「速さ」の学習に反映させやすく、児童たちが学習しやすくなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 5・6年生の上下巻を合本し、一年間を見通して予習や復習ができるようにしている。 内容のまとまりごとに「めあて」を明示したり、学習の流れを「見える化」したりすることで、学習が焦点化され、自らめあてをもって取り組める。 1年生の教科書の単元1がA4別冊になっている。またノート型になっており児童が教科書に記載しやすくなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 5・6年生の上下巻を合本し、一年間を見通して予習や復習ができるようにしている。 5年生の「単分量」の学習後に「速さ」の単元が入っているため、「単分量」の既習内容を「速さ」の学習に反映させやすく、児童たちが学習しやすくなっている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ノート指導のコーナーを設けて、分かりやすいノートのまとめ方等についてもふれられている。 単元末の「つないでいこう算数の目」では、学習した数学的な見方・考え方を振り返り学習内容の価値づけや、次の学習に系統的につなぐ工夫がある。 単元冒頭で、日常場面と関連した問題を設定したり、問題提起の仕方を対話の視点で明示したりするなど、学習動機を創出している。 一問一答による内容理解ではなく、自他の考えを比較検討し、より対話的な学びを通して、よりよいものに変容させていくことが大切にされている。 		<ul style="list-style-type: none"> ノート指導のコーナーを設けて、分かりやすいノートのまとめ方等についてもふれられている。 2年生以上の巻頭で、数学的な見方・考え方をまとめ「ひらめきアイテム」として学習時に掲示することで、活用を促進する工夫がある。 各学年当初の単元において、板書写真を詳細に掲示し、主体的・対話的に学習を進める流れが具体的に示されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ノート指導のコーナーを設けて、分かりやすいノートのまとめ方等についてもふれられている。 2年生以上の巻頭で、前学年で学んだ見方・考え方を領域ごとにまとめ、ふりかえられるようになっていく。また重要な見方・考え方をキャラクター化し、折り込みページにまとめることで、いつでも見ることができるようになっている。 図や表を活用し問題解決できるように、系統立ててコーナーを作っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ノート指導のコーナーを設けて、分かりやすいノートのまとめ方等についてもふれられている。 子どもも自らが問いを見出し、解決し、次の問いへつなげるサイクルを意識できる工夫がある。 各領域を貫く数学的な見方に焦点を当て「算数のミカタ」があり、新たな見方を獲得したときや、見方を拡張したいときに繰り返し参照できるようにしている。単元末に4コマ漫画で見方・考え方やよさをまとめる工夫もある。 		<ul style="list-style-type: none"> ノート指導のコーナーを設けて、分かりやすいノートのまとめ方等についてもふれられている。 演繹、類推、帰納など算数で使いたい考え方を、既習事項を例にまとめている。 問題量を十分に取り、基礎基本の定着を図るだけでなく、習熟度に合わせた挑戦問題も豊富に用意されている。 見積りや推論に特化した、活用、探求型のコーナーがあり、日常生活に生かそうとする工夫がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ノート指導のコーナーを設けて、分かりやすいノートのまとめ方等についてもふれられている。 問題解決型の学習の流れと算数で使いたい見方・考え方を示した「学び方ガイド」を取り外し可能にし、いつでも参照できるようにしている。 巻末に補充問題だけでなく、複数の単元を横断した探求的な問題を設定し、学習の個別化を図っている。 	
発展的な学習・補充的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 巻末教材「新しい算数プラス」に本文の練習問題とリンクした補充問題を全単元に設定しており、定着練習ができるようになっている。また、難易度別の2段階で構成しており、個々の習熟度に応じて取り組むことができる。 巻末に既習内容がまとめてあるので、個別の理解状況に応じて確かめたり、調べたりすることができる。 特設ページ「算数で読もう」が、4年生上巻から1か所ずつ設定されており、現代的な教育課題や、社会課題への取り組みに対して算数の視点で考える力を育成できるようになっている。 巻頭コラム「私と算数」では、世界レベルで活躍する人の算数との関わりを知ること、算数の身近さや有用性を味わい意欲を高めることができる。 二次元コンテンツが充実している。 		<ul style="list-style-type: none"> 巻末教材「プラス・ワン」を設け、適用問題を早く解き終えた児童が自ら取り組むことができるようになっている。また「+」は、少し難しい発展的な問題になっている。 「おうちで算数」では、算数で学んだことを生活に生かす様々な場面を通して算数を学ぶ意義を感じさせ、経験を伴って知識や技能を定着させることができる。 二次元コンテンツが充実している。 		<ul style="list-style-type: none"> 巻末に「もっと算数」として補助問題があり、各単元の補充問題や発展問題に取り組むことができる。また、「ふかめよう」では、複数単元の内容や生活の中の算数を考える教材がある。 「算数を使って」では、算数だけでなく社会問題にも目を向けて算数を使って、様々な問題に取り組むことができるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 巻末に既習事項をまとめてあり、関連する単元からリンクし、分からない所はすぐにふりかえられるようになっている。 学年末の活用問題の「算数を使って考えよう」では、算数で学習したことを総合的に活用する問題に取り組めるようになっている。 5年生の学年末では、全国学力調査で出題されるタイプの問題を一連のストーリーの中で扱い、目的意識をもって活用することができる。 巻末の「ステップアップ算数」では、①基本問題と、②ジャンプ問題として発展的な問題にも挑戦できるようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学びのサポートとして、巻末に「じゅんび」「もっと練習」があり、既習事項の確認問題と発展問題ができるようになっている。 巻末の「学びをつなげよう」では、既習事項がいつでも確認できるようになっている。 3年以上で学年末に「わくわくSDGs」があり、答えが一つに定まらない問いに対して算数を使って取り組む問題が設定してある。 二次元コンテンツが充実している。 解説動画が多く、基礎学習を繰り返し確認することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 巻末に全学年までの学習した既習事項がいつでも確認できるようにしてある。 巻末の算数ジャンプでは、他教科や日常生活と結びつけた総合的な算数の問題ができるようになっている。 巻末には、「算数マイトライ」があり、「しっかりチェック」では、基礎・基本問題に、「ぐっとチャレンジ」では応用・発展問題に、「もっとジャンプ」では探求的な問題に取り組むことができるようになっている。 	

理科

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新編 新しい理科	大日本図書	新版 たのしい理科	学校図書	みんなと学ぶ 小学校 理科	教育出版	未来をひらく 小学理科	信州教育出版	楽しい理科	啓林館	わくわく理科
項目	所見		所見		所見		所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決に必要な力を養うために、その過程や進め方を、巻頭の「理科の学び方」で示している。 単元の導入には、大きな写真やマンガを取り入れ、児童が興味・関心を持てるようにされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 問題解決に必要な力を養うために、その過程や進め方を、巻頭の「理科の学び方」で示している。 主体的・対話的で深い学びの実現のため、単元初めに、児童が興味・関心を持てる実験や普段の生活で疑問に思うことなどを載せている。 		<ul style="list-style-type: none"> 問題解決に必要な力を養うために、その過程や進め方を、巻頭の「科学の芽を育てよう」で示されている。 「見つける」「調べる」「まとめる」などの段階に配「理科モンスター」を載せ、モンスターを攻略することで、児童に意欲を持たせ、主体的な学びになるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 問題解決に必要な力を養うために、その過程や進め方を、巻頭の「学習の進め方」で示している。また、記録の仕方として、「ノートのとり方」として示されており、実験・観察の場合において活用できるようにされている。 単元ごとに主人公を設定し、その主人公が問題を解決していく姿を表現することで、児童が主体的に学習を進められるように記載されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 問題解決に必要な力を養うために、その過程や進め方を、巻頭の「学習の進め方」で示している。 主体的・対話的で深い学びにおいて、学びの振り返り、児童の言葉、表現でまとめるために「ふりかえろう」のページが設定されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 問題解決に必要な力を養うために、その過程や進め方を巻頭の「理科の楽しみ方」で示されている。 「まとめ」の後に「もっと知りたい」を設定し、深い学びと、新たな問題発見への意欲を高められるようにされている。 	
取扱いの取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 写真やイラストに登場する男女の比率や役割・服装など偏りがないように、配慮されている。 車いすを使用している児童などさまざまな児童が活動する様子を取り上げることで、多様な児童が協力して学べるように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 写真やイラストに登場する男女の比率や役割・服装など偏りがないように、配慮されている。 理科の中で道徳的な観点から、生命尊重に関わる資料をとり上げている。 		<ul style="list-style-type: none"> 写真やイラストに登場する男女の比率や役割・服装など偏りがないように、配慮されている。 協力しながら学習を行う様子の男女のグループ写真を掲載することで、自他を敬愛し、男女平等と協力の心を育めるよう配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 写真やイラストに登場する男女の比率や役割・服装など偏りがないように、配慮されている。 観察、実験では、男女が協力して問題を解決する様子を示すことで、男女の平等、自他の敬愛と協力する態度を養うように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 車いすを使用している児童の挿絵やさまざまなキャラクターを取り入れることで、多様な児童が協力して学べるように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 写真やイラストに登場する男女の比率や役割・服装などに偏りがないように配慮されている。 児童一人ひとりが、個人の価値を尊重しながら互いに協力して学びを深めていけるよう配慮されている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> すべての児童の理解を進めるために、単元導入のページ章末の「まとめ」では、すべての漢字にふり仮名をつけている。 どの学年においてもわかりやすいように写真を大きくし、また「問題」「まとめ」の文章には別の太いフォントが使われていて見やすくなっている。 中学年では、文字数をなるべく少なくし、高学年では、解説などにより文字数が多くなっている。 実験方法や説明について、文字だけではわからない部分は、二次元コードを配置し、視覚的な配慮がなされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 写真では伝わりにくい動きについて、動画につながる二次元コードを教科書の脚注に配置し、効果的にイメージしやすくされている。 「問題」「結論」の文章では、大きな文字にし、それぞれ違う色で囲んでいる。 植物や動物の写真では、紙面いっぱいに掲載し、細部まで見えるようにされている。 写真は学習意欲がわくように、ダイナミックな自然の姿や日常生活でよく目にする身近なものを掲載されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「問題」「まとめ」に記載されている字を大きくされている。 単元の導入で、既習内容を振り返るための二次元コードが配置されて、重要語句や要点が学習できるような工夫がされている。 写真だけでは伝わらない部分を二次元コードで動画を視聴できるようにして構成されている。 「理科モンスター」が中学年から高学年で、レベルアップしており、これまで学んだことを踏まえて結果を予想するところから、理由のある予想をするようにされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「問題」や「結論」の文章には大きな文字を使い、わかりやすくされている。 説明の文章では、中学年では文字が大きく文字数も少なくしているが、高学年においては文字数が多くなるため、文字を小さくし、見やすいようにまとめられている。 導入部分で学習する単元が、「学習のつながり」として、これまでに学習した単元やこれから学習する単元が記載されている。 巻頭に前の学年で学習した内容が記載されており、学年に応じて身につけたことが何であったかを示している。また、学習した語句や要点をまとめられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 単元での学習を整理してまとめる場として「ふりかえろう」のページを設定し、一人ひとりの児童が自分の学習を振り返ることができるよう工夫されている。 単元の導入にある「思い出そう」では、関連する学年、単元名、学習事項を簡潔にまとめたものがある。 		<ul style="list-style-type: none"> 中学年、高学年でフォントサイズを変えるなど、見やすさ、情報量に配慮されている。 「思い出そう」では、関連した既習内容がその都度記載されている。学年が上がるごとに多く記載されている。 巻頭にある「季節ごよみ」では、学年ごとに育てる生物の成長過程が季節ごとわかるようになっている。 単元末の「スマート解説」では、「たしかめよう」「活用しよう」のすべての問題の解説動画を視聴でき、多様な児童の理解度に対応した個別最適な学びがサポートされている。 	
組織配列	<ul style="list-style-type: none"> 基礎となる単元を先行するとともに、季節的に適切な時期に扱うことができるように配慮されている。 単元配列や観察の方法などを工夫し、体験活動や発展的・補充的な学習の時間を確保できるように指導計画を立てられるよう配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 生物分野は、生物を飼育・栽培、観察するのに適した学習時期とし、その他の領域は系統性や他教科との関連、学年ごとの理科室の使用時期などを総合的に考慮して配列されている。 各単元の学習は必要かつ十分なものをとり上げ、年間の予備時数もとれるように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 基礎となるものから学習できるように配列され効果的かつ柔軟に扱うことができるように、季節や気温などにも配慮して構成されている。 巻頭で年間の見通しをもち、巻末においてどのような力がついたのか確かめられるような工夫がされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 教師と児童がゆとりをもって、問題解決学習を行えるように配慮した適切な時数が配分されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習活動の精選と効率化が図られており、児童が発想した問題解決の方法を生かしつつも、時間に余裕をもって主体的に追究できるように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 配当時間については、児童が自ら活動し、問題解決学習を行うのに適した時数になるよう配慮されている。 系統的な順序性を確保した上で、季節的な不都合が生じないよう、野外観察や飼育・栽培に適した時期に配当されている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 「理科の見方・考え方」では、見方や考え方を意識的に働かせながら思考することで「深い学び」が実現し、問題解決の力が育成できるように工夫されている。 二次元コードで感染症対策の動画が用意されており、安全に活動ができるよう工夫されている。 「のぼそう!理科の力」では、「デジ活」というコンテンツが用意されており、端末上で書き込んだり操作したりして、自分の考えを表現したり、他の児童と共有したりできる。 A4判サイズであり、写真が大きく多い。生き物の成長過程や実験過程が分かりやすく、視覚支援の面からも優れている。 表紙裏にアニメ画が使用されており児童が親しみをもって理科にとりかかれるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 見つけよう、調べよう、伝えようの問題解決学習の流れが、ラインにより視覚的に分かりやすい工夫となっている。 二次元コードから、関連するwebコンテンツにアクセスできる工夫がされている。 キャラクターのセリフをあえて全文ではなく、「…」とし、児童自らで考えさせるように工夫されている。 既習事項や他教科の学習内容との関連を分かりやすく整理して巻末に記載されている。 A4判サイズであり、写真が大きく多い。生き物の成長過程や実験過程が分かりやすく、視覚支援の面からも優れている。 表紙裏にアニメ画が使用されており児童が親しみをもって理科にとりかかれるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> つけたい力を「理科モンスター」というキャラクターで示すことで、楽しみながら問題解決学習をすすめていく工夫がされている。 二次元コードやICTマークから、多様な学び方から自分で選べる工夫がされている。 単元の冒頭では、学習内容に合わせて特につけたい資質・能力についてモンスターを通して三つ選び、学びの中で意識しながら学習を進められる工夫がされている。 実験などの一連の作業を細かなステップに分解し縦の流れで示されている。 3年の観察記録など、個々の技能に差がある場合は複数の方法が例示されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 見通しをもって学ぶことができるように、「学習の進め方」を設けてあり、問題解決学習の過程が分かりやすいように工夫されている。 教科書の内容と関連のあるコンテンツをwebサイトに用意しており、子どもの学びを深める工夫がされている。 単元の最初に、「学習のつながり」を示してあり、既習事項を振り返ることができる工夫がされている。 実験の注意、危険マークが赤字で記載されており児童が何に気をつければよいか分かりやすい。 巻末に「算数とのつながり」を掲載し、算数の学習と関連をはかりながら学習できる。 		<ul style="list-style-type: none"> 「思い出そう」マークでは、これから学習する単元に関連のある既習事項を端的に示し、振り返ることができるように工夫されている。 「見つけよう」マークでは、単元の主教材に直接ふれるなどして、気づいたことや疑問に思ったことを、既有経験を想起して話し合う活動ができるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「見つける、調べる、まとめる」の3段階の「学びのサイクル」で示され、理科の学びが積み重なり深まるような工夫がされている。 理科を楽しむ見方・考え方として、教科書のポイントとなる言葉に緑色のマーカーを引くなど児童に考えさせる工夫がされている。 「はじめに考えよう」「思い出そう」では、単元の始めに、単元全体を見通した発問を投げかけ、単元の終わりにも同じ問いを再考させることで、子どもたちのメタ認知を促す工夫がされている。 単元末にノートのまとめ例があり、経験の浅い教員の手助けとなる工夫がされている。 教科書が軽量化されており、持ち運びがしやすい。 	
発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 「広げよう!理科の発想」では、学んだことを日常生活で出会う事象に生かし、自分なりに考えることができる。 「理科の世界 探検部」では、児童の生活に即したものの、興味をもちやすいもの、キャリア教育や伝統・文化、STEAM教育、SDGsなどの題材も多く、学んだことを日常生活や社会につなげる読み物となっている。 各学年の巻末で、プログラミングの活用が設けられており、学んだことを活かして論理的思考を育成することができるようになっている。 巻末資料に「しぜつを活用しよう」を設け、地域の博物館や科学館などが紹介されている。 話し合いの例が示されており、自分の考えをもつことが難しい児童のヒントとすることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 環境、科学技術、理科と仕事、英語、伝統と学習の読み物資料があり、学習内容が広く社会に役立ち自分の将来のキャリアについて考えることができるようになっている。 「サイエンスワールド」では、上位学年や中学校での学習が掲載されえおり、学年間のつながりや中学校の連携に配慮されている。 単元末コラム「りかのたまてばこ」の内容が、児童の生活に即したものの、興味をもちやすいものが多く充実している。 確認問題「たしかめよう」、活用問題「学んだことを生かそう」が両方で2ページ分と大きく使われており、図や写真付きで充実している。学習内容が定着するよう構成されている。 		<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育、SDGs、自由研究、安全・防災教育、郷土を愛する心の読み物資料があり、学習したことから考える活動や学びや関心を持てるようになっている。 単元末コラム「もっと知りたい」の内容が、児童の生活に即したものの、興味をもちやすいものが多い。 巻末には「理科の世界をふりかえろう」が設けてあり、自己の成長を振り返ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> SDGs、防災・減災教育についての資料があり、子どもが問題意識を持って学習できるようになっている。 カリキュラムマネジメントの視点から、他教科の学習を理科と関連づけて教科横断的に扱っている。 単元末コラム「科学のまど」の内容が、児童の生活に即したものの、興味をもちやすいものが多い。 		<ul style="list-style-type: none"> SDGs、環境教育、防災教育などについての資料があり、児童が自分なりにできることは何なのかを考えることができるような展開となっている。 「はってん中学校1学年」では、児童が興味・関心をもって発展的に学習を進められるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 全学年に「with the Earth」のコーナーが設けられており、科学、防災・減災、恵の3つの要素について科学的な視点でとらえられている。 「くらしとリンク」では、日常生活や社会に関連した話題があり、子どもたちが理科を学ぶ意義・有効性が伝わるように構成されている。 キャリア教育として、働く人へのインタビューが二次元コードで設けられており、学ぶ意欲を高めるものとなっている。 STEAM教育、SDGsなどの題材も多く、学んだことを日常生活や社会につなげる読み物となっている。 中学校で学ぶ内容を一部紹介し、学習内容の理解を深めるとともに、中学理科への興味・関心を高めることができる。 	

生活

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新編 新しい生活	大日本図書	新版 たのしいせいかつ	学校図書	みんなとまなぶ しょうがっこうせいかつ	教育出版	せいかつ	信州教育出版社	せいかつ
項目	所見		所見		所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 生活科の目標達成に適切な内容が掲載されている。 自分と身近な人々、地域、自然との関わりに関心を持ち、学習・活動を進められる。 各小単元の「本文」と「!知識・技能」「?思考・判断・表現」「◎主体的に学習に取り組む態度」で3観点が表示されており、指導と評価の一体化がなされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 生活科の目標達成に適切な内容が掲載されている。 自分と身近な人々、地域、自然との関わりに関心を持ち、学習・活動を進められる。 		<ul style="list-style-type: none"> 生活科の目標達成に適切な内容が掲載されている。 自分と身近な人々、地域、自然との関わりに関心を持ち、学習を進められる。 		<ul style="list-style-type: none"> 生活科の目標達成に適切な内容が掲載されている。 自分と身近な人々、地域、自然との関わりに関心を持ち、学習を進められる。 		<ul style="list-style-type: none"> 生活科の目標達成に適切な内容が掲載されている。 自分と身近な人、社会及び自然、その地域ならではの関わりやふれあいなどに関心を持ち、学習を進められる。 	
取人権の扱い	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人々と関わる活動場面を取り入れ、発達段階に応じた人権意識を育むことができるように配慮されている。 すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、UDフォント、文節改行、配色、写真など、見やすい紙面になるように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 多様な人々と関わる活動場面を取り入れ、発達段階に応じた人権意識を育むことができるように配慮されている。 UDフォント、文節改行、配色、写真など、わかりやすい紙面になるように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図や資料などが適切に扱われている。 すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、レイアウトや図の配色などが配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図や資料などが適切に扱われている。 すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、レイアウトや図の配色などが配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図や資料などが適切に扱われている。 すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、レイアウトや図の配色などが配慮されている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> 架け橋期の充実を図るため、幼児期の育ちをいかした単元導入や学習活動の例が多く掲載されている。特に上巻（がっこうせいかつすたあと）では幼児期の育ちをさらに伸ばしていけるように活動内容や方法に工夫がある。 第3学年以降の社会や理科、総合的な学習の時間との接続への配慮がなされた活動や体験があげられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 1年間の季節の流れに沿った大単元構成で、児童の意識や意欲にあった活動ができるように配慮されている。 上巻を1年生、下巻を2年生と考え、2年間を通して児童の発達段階に即した活動内容になるように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 写真やイラストが効果的に活用されており、学びの動機づくりに役立つよう工夫されている。 発達段階に即して、児童の興味・関心や行動範囲が広がるように構成されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 写真やイラストが効果的に活用されており、学びの動機づくりに役立つよう工夫されている。 発達段階に即して、児童の興味・関心や行動範囲が広がるように構成されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 写真やイラストが効果的に活用されており、学びの動機づくりに役立つよう工夫されている。 発達段階に即して、児童の興味・関心や行動範囲が広がるように構成されている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 教科横断的な学習に取り組めるように「つながる○○」など明確に示されている。 挿絵の中にその授業のめあてや板書、児童の意見、ワークシートなどを提示することで、学習の流れが明確である。 スタートカリキュラムとして活用できる内容に加え、架け橋期に他教科と関連づけられる学習材が取り扱われている。 上巻、下巻で学習活動や資質・能力などが段階的に高まるよう系統的に配列されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 地域や学校に実態に応じて活動が選択できるよう多様な活動を例示している。 大きな写真やイラスト、児童の活動のヒントになる吹き出しなど、活動がイメージしやすくなるように構成されている。 		<ul style="list-style-type: none"> スタートカリキュラムとして活用できる内容が取り扱われている。 見通しをもって学べるように、目次に1年間の学習の流れと時期が提示されている。 願いをもち→主体的・対話的に活動→伝え合い、振り返るという構成で、学習の流れがわかりやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> スタートカリキュラムとして活用できる内容が取り扱われている。 学習の流れが児童にも保護者にも担任にもわかりやすく示されている。 単元導入に「わくわくスイッチ」という、児童の多様な思いや願いを言葉にした、動機付けの共有が提示されている。 		<ul style="list-style-type: none"> スタートカリキュラムとして活用できる内容が取り扱われている。 大きな写真やイラスト、児童の活動のヒントになる吹き出しなど、活動がイメージしやすくなるように構成されており、縦書きで記載されている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 学びプロセスを繰り返しながら自分で考え、行動できるような工夫がなされている。 二次元コードからリンクする特設コンテンツなどICT機器が有効に活用できるように配慮されており、活動する際に相手意識をもって手段を選択できるようになっている。 協働的な学びの実現に向けて、活動や体験を通して得た気づきを友だち同士で伝えあう姿や多様な他者と関わる場面などが具体的に例示されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ICTの活用、他者との協働的な学びを取り入れることで、児童の探究的な学びが実現できる学習の流れを工夫している。 自然の不思議さや面白さを実感する学習活動が取りあげられている。あさがおの観察カードの記載例や花や実から色水を作る活動の紹介など工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや願いを明確にする展開になっている、自ら課題をもって学べるようになっている。 記録カードの活動を大切に、活動に取り組んだ自分を記録によって表現、自己評価できるように構成されている。 ICT情報教育、SDGs・環境、キャリア教育など、今日的な課題に対応されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「学びのポケット」で合科的指導を図ることができるよう、教科マークが付いており、生活科で身につけたい知識や技能の取得を促すことができるようになっている。 教科書を貫く「はっけんロード」で、主体的・対話的で深い学びを導くしかけになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 地域の豊かな自然環境や日常的な事象を取り上げ、直接体験による学習活動を大切にしている。 身近な人や地域の人のつながりを重視した活動が取りあげられている。 	
補足的な学習発展	<ul style="list-style-type: none"> 発展的学習内容を設け、児童の興味関心に応じて3年生以降の学習内容について関連させ、扱うことができるように配慮されている。 2年生では、3年生以降の探究的な学習のサイクルが体験できるような構成になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 発展的学習内容を設け、児童の興味関心に応じて3年生以降の学習内容について関連させ、扱うことができるように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ることができる。 単元末に「もっと○○したい」が設けられていて、さらなる活動・課題に広げ、自分自身の生活が豊かになるように構成されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ることができるよう配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習や生活を振り返り、生活上必要な習慣や技能の習得を確かなものにするため、巻頭に「ご家庭のみなさんへ」が記載されているなど配慮されている。 	

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名
		光村図書	せいかつ たんけんたい	啓林館
項目	所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 生活科の目標達成に適切な内容が掲載されている。 学びを深められるように、試行錯誤のポイントや振り返りの観点が繰り返し提示されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 生活科の目標達成に適切な内容が掲載されている。 児童が笑顔で活動している写真や挿絵で、具体的な活動や体験を促している。 単元構成が明確。「わくわく」（単元導入）、「いきいき」（主な活動）、「ぐんぐん」（表現活動）の繰り返しになっているため、児童も教員も学習活動の流れと深まりの過程を体得しやすい。 	
人権の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図や資料などが適切に扱われている。 安全教育や命の教育を随時取り扱っている。 		<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある児童や海外につながる児童と一緒に活動する姿が自然に受けとめられるよう、繰り返し描かれている。 通学帽が児童共通の形をしていることや、警察官、消防士などに性別の偏りが無いよう考慮されている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> 学校で学習したことを家庭で生かせるよう、各単元に保護者へのアドバイスが提示されている。 図鑑を手にもって自然観察ができるように、1年生は図鑑を切り離して活用する、2年生は冊子として活用するという具合に発達段階を考慮している。 		<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に、児童園等の写真から始まるスタートブックがあり、園での経験を活かして学校での学習につながるよう、スタートカリキュムが適切に扱われている。 ワークシートが児童の発達段階を考慮して提示されている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> どのような学習活動をするのか一目で分かるようになっており、児童が興味関心を持ちやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して、同じ場所を観察するようになっているので、四季の変化、動植物の変化やそこで生活する人々の変化を見出しやすい。身近な場所での定点観察にもつながる。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 各単元に振り返りの観点が適切な言葉で提示されている。振り返りの観点のよき参考になる。 ヨシタケさんのイラストが効果的である。「どうしてだろう、なんでだろう」と、失敗をしてもそれが次の学びにつながるよう、粘り強く学ぶ姿が提示されている。また、「こんなこともあるかもね」とハプニングが想定されていて、どうしたらよいか児童が考えるきっかけをつくっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各単元の導入に「単元の扉」と「わくわくタイム」のページが設定されており、学びの見通しを持てるようにしている。 各単元に「ひかるきもち」のページがあり、様々な人とのつながりを大事にしている。 ワークシートや板書など言語活動の事例が多様である。 「めくり言葉」で学習が連続するよう工夫されている。 	
発展的な学習・補充的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 学習や生活を振り返り、生活上必要な習慣や技能の習得を確かなものにするため、小単元ごとに「ふりかえろう」が設けられおり、スモールステップで振り返ることができる。 1・2年生の生活科が3年生の学習と総合的な学習につながることを提示している。 		<ul style="list-style-type: none"> 巻末の「学習図鑑」では、探究学習の基本がわかりやすく提示されているので、自ら学び、身につけることができる。 単元末に振り返り活動が設けられ、得られた気づきを次の学習や日常生活へつなげるよう「ひろがるきもち」で工夫している。 3年以上の理科や社会、総合的な学習に接続発展できるよう構成されている。 	

音楽

教科用図書選定資料（案）

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名
		教育出版	小学音楽 音楽のおくりもの	教育芸術社
項目	所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱・器楽・鑑賞・音楽づくりの4つの領域が偏りなく取り扱われている。 ・生活や社会と音楽の関わりを取りあげるなど、児童たちが興味をもてる教材を多く取りあげることで音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱・器楽・鑑賞・音楽づくりの4つの領域が偏りなく取り扱われている。 ・生活や社会と音楽の関わりを取りあげるなど、児童たちが興味をもてる教材を多く取りあげることで音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う内容になっている。 ・見出し部分にめあてが具体的に書かれており、授業の展開がスムーズに行える。 	
取扱いの取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解に関わるたくさんの教材を取り入れている。 ・すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解に関わるたくさんの教材を取り入れている。 ・すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 ・ユニバーサルデザインの観点において、旋律の音の高低や曲のイメージの視覚支援が十分である。 ・表紙には多種多様な民族のキャラクターを登場させている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵や写真が見開きで大きく載せられており、視覚からイメージを膨らませやすくなるよう配慮されている。 ・音楽づくりでは、様々な音楽の要素を使いながらまとまりのある音楽を作ることができる。 ・鑑賞領域では、身体表現を取り入れたり、感じたことを書き込んだりしながら、音楽を感じ取ったり、場面の様子をイメージしたりして、聴くことができる。 ・器楽（合奏）では、児童の興味関心を引くような選曲がされており意欲的に取り組める曲が記載されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵や写真等、イメージを膨らませられるような取り扱いがされている。 ・音楽づくりでは学年を通して、系統だったワークシートが使用されており、誰もが取り組みやすく、達成感を味わうことができる。 ・鑑賞領域では、身体表現を取り入れたり、感じたことを書き込んだりしながら、音楽を感じ取ったり、場面の様子をイメージしたりして、聴くことができる。 ・器楽（合奏）では、器楽が苦手な児童でも無理なく取り組める内容になっている。 ・楽器の写真が仲間ごと記載されており、音の出るしくみなども詳しく学ぶことができる。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱・器楽・鑑賞・音楽づくり等の表現活動が関連づけられており、前時で学習したことを復習しながら、他の領域でも使えるように、6年間を通じて学習できるよう配慮されている。 ・低中高学年、それぞれ2年間を通して題材どうしのつながりを持ち、学びが深まるよう、配列されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱・器楽・鑑賞・音楽づくり等の表現活動が関連づけられており、前時で学習したことが他の領域でも記載されていて、6年間を通じてより丁寧に学習できるようになっている。 ・低中高学年、それぞれ2年間を通して題材どうしのつながりを持ち、学びが深まるよう、配列されている。 ・表紙絵には、それぞれの学年で学ぶ内容にあった絵が描かれ、裏表紙では地域の特色ある芸能に触れている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材の右側（同じ位置）に、新しく学習する音符や記号を分かりやすく表示している。 ・鑑賞において、身体表現が取り入れられており、曲の感じを体で感じられるように工夫されている。 ・巻頭には、児童に馴染みのある人物の写真と音楽へのメッセージが書かれているため、音楽に対する意欲が高まりやすい。 ・「学び合う音楽」というコーナーを作り、音楽表現について児童の考えが深まるように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各教材に、新しく学習する音符や記号を表示している。 ・単元ごとに学んだことをふりかえり、これからの学習につなげていけるような内容が示されている。 ・鑑賞において、身体表現が取り入れられている。また、旋律を表現する図形楽譜が音楽の特徴を見つけるための手立てとなっている。 ・低学年において、歌唱・器楽・音楽づくりの領域で拍について丁寧に記載されている。 ・巻頭には、人物の写真と音楽へのメッセージが書かれており、音楽に対する意欲が高まりやすい。 ・イメージキャラクターを用いて、児童たちの気づきや思考を促す内容が随所に記載されている。 ・「歌声ルーム」というコーナーをつくり、音楽表現について分かりやすく示されている。 	
発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ・随所に二次元コードが記載されており、学習に役立つ情報が、ウェブサイトで見られるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・全曲に二次元コードが記載されており、学習に役立つ情報が、ウェブサイトで見られるようになっている。 ・6年生で著作権についてのページがあり、今の児童たちの生活に根差した内容になっている。 	

図工

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	開隆堂	図画工作	日本文教出版	図画工作
項目	所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の資質・能力の三つの柱について、内容と育てたい力がバランスよく構成されている。 ・造形・絵・立体・工作・鑑賞・考え方や用具材料の扱いについてバランスよく取り扱われている。 ・中心となるめあてを強調して分かりやすく示している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の資質・能力の三つの柱が抑えられ児童が「自分の感覚や行為を通して」造形的な視点（知識）について理解できるような題材が扱われている。 ・全題材を通じて、表現と鑑賞を往還しながら目標に沿って学習を進めていくことができる。 	
人権の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年や高齢者、幼児、障がいのある方との交流のきっかけとなるような題材が掲載されている。 ・多様性を意識する観点から、海外児童の作品もSDGsに関わる活動と位置づけ、各学年に配置されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の児童や、幼児、高齢者、障がいのある方など、様々な人々と関わる姿が掲載されている。 ・鑑賞では、対話する場面が多く設定され多様な見方や価値観を尊重する気持ちを育てられるような教科書となっている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> ・材料や用具の使い方、知識が巻末に「学びの資料」として系統的にまとめられている。 ・「つくり方」がていねいに書かれてある題材が多く、また、二次元コード（インターネット）を通じて動画を参照することで、基礎基本の内容が確実に習得できる構成となっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・1・2年（上）「ずこう」のスタートでは、幼児期の活動内容に近い題材や発達段階に適した題材を設定されている。 ・二次元コンテンツでの用具の使い方や仕組みの作り方動画を通じ、基礎基本の知識・技能を促すことができる。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な材料を使った題材から始まり、段階的に発想や構想を広げていけるよう、系統的に題材配列が工夫されている。 ・一つの題材での学習が次の題材につながるように工夫されている。 ・低・中・高学年で繰り返し同じ材料や用具を用い、使い方が発展できるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・低「まるごとたのしもう」中「ためす見付ける」高「わたしとひびき合う」とし、段階に応じて学びを深められるよう、系統性に配慮して配列されている。 ・行事や季節に応じて題材を選択できるように配列されている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションや言語活動を重視した題材、共同で行う題材が多く設定され、コミュニケーション能力を高めていけるように工夫されている。 ・それぞれの活動で使用する用具・材料を各題材ページの冒頭にまとめ、アイコンと文字で分かりやすく示している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・視覚や触覚、聴覚など、五感を働かせる行為と造形活動を結びつけるなど、工夫されている。 ・WEBアプリを使用し、アニメーションや身の回りの風景を切り取って、形や色の良さや面白さに気づくことができるようになっている。 	
発展的な学習・補充的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ・造形遊びで表現したものを使って新たな活動に発展させたり、絵画や工作作品を使って発表会を開いたりするなど、題材配列が工夫されている。 ・各題材に児童のつぶやきが吹き出しに載せられていて、自分の活動を補充・発展させるヒントとなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・一つの題材の中で、いくつかの実践パターンが示され、個々の興味・関心に応じて表したいことを見つげられるように工夫されている。 	

家庭

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新編新しい家庭5・6	開隆堂	わたしたちの家庭科5・6
項目	所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識技能をおさえるために各題材で最低限身に付けてほしい知識技能を「いつも確かめよう」の囲みで示されている。また、単なる技能習得に終わらないように実習とセットで取り上げられ、実際の生活場面でいかされるよう配慮されている。 ・全学習項目で問題解決的な学習が繰り返されるようスリーステップ(課題発見→問題解決・実践活動→評価・改善)で構成されている。 ・各大題材の導入に「家庭科の窓」が設置され主な見方・考え方が示されている。「家庭科の窓」から生活の課題を発見し解決方法を考えて実践することで家庭生活をよりよく工夫しようとする態度を身につけられるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識技能の内容がどの題材もステップ2(わかるできる)にまとめられている。また、題材が細かく区切られているので組み換えがしやすく地域や学校の実態に応じて指導しやすくなっている。 ・全学習項目で問題解決的な学習が繰り返されるようスリーステップ(気づく・見つける→わかる・できる、→生かす・深める)で構成されている。 ・各題材の導入に「クローバー」のマークで生活の見方・考え方が示されている。また、ステップ3の生かす・深めるでは児童がさらなる課題に向けて主体的に取り組めるよう具体的かつ豊富な実践例をのせている。 	
人権の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラストで幼児や高齢者、障がいのある人、外国人との関わりを通して共生の視点に気付くことができるように配慮されている。 ・イラストや写真の男女の服装や発言内容が性別による役割固定にならないようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラスト及び表紙に、幼児や高齢者、障がいのある人や病気のある人、海外につながりのある人などさまざまな人が掲載されることで、児童に多様性の視点が広がるような工夫がされている。 ・男女の区別や障がいの有無に関わらず 全ての人が平等な関係であることを前提にして記述や課題の設定・写真や図が工夫されている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> ・内容に合わせた資料が、各ページにコラム的に掲載されている。 ・考える調理実習の導入で、生活に活用する力・生活を工夫する実践的態度の育成をめざしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・複数の調理を同時進行する場合の手順が横流れで示されている。 ・教科書の裏表紙に、目盛りと、野菜の切り方(写真)が載っているので、実習しながら活用できるようになっている。 ・実習、製作の難易度が設定されている。 ・生活の課題と実践例が示されており、実生活とつなげやすい構成になっている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生は8単元、6年生は7単元で構成されている。 ・3ステップで、問題解決的な学習ができる構成になっている。 ・各ステップに応じた二次元コードが示されており、ICTを使った学習が可能になっている。 ・SDGsについて5年生から学習する配列になっている。 ・アニメと写真が使用されている。 ・4人のキャラクターが登場し、内容についてのポイントをそれぞれのキャラクターがつぶやく形で進められている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・5年生は11単元、6年生は9単元で構成されている。 ・3ステップで、流れがつかみやすい構成になっている。 ・各ステップに応じた二次元コードが示されており、ICTを使った学習が可能になっている。 ・実習を行う場合、その実習に合わせた道具等の説明が詳しく表記されている。 ・SDGsについての学習が、他教科(社会科)で学習する時期と重なっている。 ・アニメと写真が使用されている。 ・写真が多用されており、視覚でとらえやすい作りになっている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・大題材を3ステップで構成している。 (「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」) ・大題材の最初に「家庭科の窓」を設置しおもな見方・考え方を示している。 ・ゆで方の違いに着目させるなど、考える調理実習をめざした構成にはなっている。 ・単元終了時には、「できたかな?」(振り返り)が設けられており、単元でつけたいかに沿った振り返りができるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びに寄り添ったページの構成になっている。 (マイめあて、3つのステップ「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」) ・単元の最初に、生活にかかわる見方・考え方が分かりやすいアイコン(クローバー)で書かれている。 ・調理実習では、野菜のゆで方の違いに着目し、家庭で作れるように、ゆで野菜のサラダの作り方が記載されている。 ・単元終了時には、「できたかな」(振り返り)が設けられており、課題に対して具体的な振り返りができるようにしている。 	
補足的な学習・発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ・第4大題材ではSDGsにつなげる構成となっている。 ・成長の記録を使って、2年間の学びの記録を作ることができる。 ・食育・伝統文化、防災・地域との連携、キャリア教育等の課題に対応した内容が掲載されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップで積み重ね、着実に知識・技能を身につけられる構成になっている。 ・SDGs、防災、プログラミング、キャリアなど多様な視点の記載がある。 ・中学校との連携ページや、キャリアインタビューを多数掲載している。 ・47都道府県すべてを食文化やキャリアのテーマで取り上げている。 ・生活の課題と実践例のように具体的な実践例が取り上げられており、生活の中で学習した内容を生かすことができる。 	

保健

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新編 新しい保健	大日本図書	新版たのしい保健	大修館書店	新小学校保健	光文書院	小学保健	学研	新・みんなの保健	文教社	新わたしたちの保健
項目	所見		所見		所見		所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に記された目標に則り各項がステップ1（気づく）～ステップ4（まとめる・生かす）で構成されている。 「調べる・解決する」「深める・伝える」などで話し合い活動を取り入れており思考・判断したことを他者に伝える工夫がされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各単元の本文では、基礎的・基本的な学習内容をわかりやすい言葉で明示し学習すべき内容の確実な習得が図れるように配慮されている。 単元ごとに簡単な運動や、キャラクター探し、チャートを掲載し、児童が自然と学習の課題に気づき、意欲的に取り組めるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 大きく3つのステップ（課題をつかむ→考える・話し合う・調べる・やってみる→まとめ）で構成されており、知識・技能を習得できる内容が取りあげられている。 「考えよう」「話し合おう」「調べよう」「やってみよう」などで話し合い活動を取り入れており、思考・判断したことを他者に伝える工夫がされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に記されている内容に関して、児童の興味・関心が引き出せるように分かりやすくまとめられており、日常における身近な具体例と関連づけられている。 「考えよう」「話し合おう」などで話し合い活動を取り入れており、思考・判断したことを他者に伝える工夫がされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「自分で考える」「友達やみんなと考える」「身につけたことを生かす」の3つの内容で構成されており、知識・技能を習得できる内容が取りあげられている。 「ふり返ろう」や「予想しよう」などで話し合い活動を取り入れており、思考・判断したことを他者に伝える工夫がされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に定められている目標を達成するために、児童の発達段階に応じた学習内容が盛り込まれている。 各単元は「Mission」「Stage」「Mission もう一步先の自分へ」で構成され、章末の「わたしの〇〇宣言」では、今後どう実践していきたいかについて書き込むことで知識・技能を習得できる内容が取りあげられている。 	
人権の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 多文化共生の観点から挿絵などの様々な場面で多様な人との関わりの例が示されている。 すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、UDフォントを使用し、文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。また、「もっと知りたい!」の場面で、ジェンダーや性の多様性などが取りあげられている。 障がいのある人に対する理解と支援についての関心を引き出すようにされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 写真やイラストの登場人物は、国籍や障がいの有無などに基づく差別や偏見につながりたりすることのないよう配慮されている。 性の感じ方に個人差があることの明記、海外につながるの児童のイラストが随所に配置され、多様性を尊重し様々な違いを認め合い、協力していく大切さを理解できるように配慮している。 		<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の観点から、表紙、本文、挿絵、写真、グラフ等について適切に表現されている。また、「さらに広げよう深めよう」では「性」についての悩みなどが取りあげられている。 男女共生の観点から、様々な場面で様々な立場の人が登場している。 		<ul style="list-style-type: none"> 文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。また、「共に生きる社会に向けて」では、誰もが安心して暮らすことができるなどが示されている。 すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、UDフォントを使用し、文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の観点から、表紙、本文、挿絵、写真、グラフ等について適切に表現されている。また、「その人らしさを大切に」では、一人ひとりのちがいがなどが示されている。 健康な心と体の発育が、生命尊重のもとに示されている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> 文章はわかりやすく、簡潔な記述であり分量とともに児童の発達段階を考慮した内容となっている。 学習内容が明確に提示され、児童の発達段階に即して記述されている。挿絵やグラフなどの使われ方も適している。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の系統性、領域のバランス、他教科との連携を総合的に考慮し、適切な単元配列となっている。 写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 余裕をもって学習に取り組めるように記入する頻度やスペースに配慮している。 資料やイラストを多用して、視覚的にも理解できるように配慮している。 		<ul style="list-style-type: none"> 本文や挿絵、写真、グラフ等の資料の使われ方も配慮されている。 写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「もっと知りたい・調べたい」を設け学習したことを広げたり、深めたりすることができる資料を豊富に掲載している。 写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 写真やイラストを多用して理解を促す配慮をしている。 学習の流れを「本時のMenu」として提示し、見直しをもって学習できる工夫を行っている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 1単位時間4ページの構成となっており見直しを持って学習することができる。 「つなげよう」に、その章の学習内容と他教科との関連が示されているだけでなく、随所に他教科との関連が記されている。 		<ul style="list-style-type: none"> すべての学年で目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 「はってん」「教科マーク」で他学年や他教科等とのつながりが示されており、系統的な学習が進められるよう配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 1時間2ページを基本構成とし、1つ1つの学習時間を確実に保障できるように配慮している。 3ステップのシンプルな学習過程で構成され、見通しがもちやすく、主体的に学習を進めることができるようになっている。 随所に他教科との関連をマークとともに示し、教科横断的な学習ができるようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 1単位時間あたりの見開き1ページを基本の構成として、毎授業必ず見開きの左ページから始まる配置にされている。 効果的な指導が行われるよう、写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。学習に関連する役立つ知識を紹介した「まめちしき」等がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 1単位時間4ページの基本構成とし、見直しをもって学習できるよう配慮している。 教師が、進行役となって学習を導く役割をし、児童が主体的に学習できるように工夫している。 		<ul style="list-style-type: none"> 「新しい自分にレベルアップ」や「わたしの〇〇せん言」の項目において、児童が自身の考えを深められ、学習内容の定着が図られている。 効果的な指導が行われるよう、写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。「つぶやくくん」によるアドバイス等がある。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムをチェックする表、「心の静める方法」の実習、ユニバーサルデザインを学ぶ活動など、具体的な体験を通して主体的に学ぶことができるよう工夫されている。 手の汚れを確かめる実験やリラックス状態を体験する活動が取り扱われている。 		<ul style="list-style-type: none"> 友だちと話し合ったり、教科書やノートに記入したりすることで、自分の言葉として表す表現力が育成されるように配慮されている。 手の汚れや服の汚れを調べる実験、「呼吸法」、「けがの手当て」など、具体的な体験を通して主体的に学ぶことができるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「章とびら」では健康や安全の大切さについて著名人との対話形式で取り上げ、興味関心を持ち、主体的な学びを引き出す工夫がされている。 不安や悩みへの対処の仕方としての「呼吸法」や「体ほぐしの運動」、けがの手当てについては「実習」として、確実に習得できるようにされている。 体の成長や思春期の心の変化には、個人差があることが強調されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各単元の導入において、これから学習する内容について、4コマのイラストで描かれており、児童が取組みやすいよう配慮されている。 各単元に設定されたデジタルコンテンツで、児童自らの興味・関心に応じた学びができるとともに、他者に伝える活動を提示することで、対話的な学習となるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 専門家からのメッセージの形式を用い、児童にとって重要な課題、現代的な課題を説明することで、自ら健康問題を主体的に解決していく力を身に付けることができるよう工夫されている。 体ほぐしの運動や緊張をやわらげる呼吸法、けがの手当てのしかたなど、具体的な体験を通して主体的に学ぶことができるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活を項目ごとにチェックする活動や体ほぐしの運動、複式呼吸でリラックスする活動など、具体的な体験を伴う活動が取り扱われている。 「本時のMenu」で課題を示し、「Mission 1」「学習のまとめ」で学習活動が示され、見直しをもって課題を解決できるよう工夫されている。 	
補足的な学習・発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 各章の最後（ステップ4）では、学習したことをまとめ、実生活や今後の学習に活かすための内容が設定されている。 スマートフォンやタブレットの使い方や、インターネットについてなど、今日の児童を取り巻く環境について触れており、健康被害や犯罪被害から身を守る内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「もっと知りたい!」では、学習内容に関連する資料を掲載し、学習内容をさらに広げて知識を深められるよう工夫されている。 「まめちしき」や「はってん」などの読み物や資料で、個に応じて学習内容を深めることができるよう配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 毎時間最後に「ほけんクイズにトライ!」を用意し、その時間に学んだ知識を楽しくかつ確実に習得できる。 「まとめ・生かそう・伝えよう」では、自分の生活を見直すなど、自己の課題を修正できる活動を適宜設定し、よりよく課題を解決する深い学びを促す内容となっている。 急速に変化する現代社会の中で、健康課題として浮上しているテーマなどを数多く取り上げ、学びを広げ、深めることができるよう配慮している。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されている。 スマートフォンやタブレットの使い方や、インターネットについてなど、今日の児童を取り巻く環境について触れており、健康被害や犯罪被害から身を守る内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 随所に「もっと知りたい・調べたい」を設け、児童の興味・関心や学校の実態に応じて、学習したことを広げたり深めたりすることができる構成となっている。 「課題をつかむ」「自ら取り組む活動」「対話的な活動」「活用」で構成されており、書きこみながら自分の課題を見つけて解決し、学習できるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりするための資料やコラムが取り扱われている。 資料として「もっと考えよう課」「Episode」などがある。「実験」「実習」については、イラストや写真、動画等で確認できるなど技能の習得も工夫されている。 	

英語

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	NEW HORIZON	開隆堂	Junior Sunshine	三省堂	CROWN Jr.	教育出版	ONE WORLD Smiles	光村図書	Here We Go!	啓林館	Blue Sky elementary
項目	所見		所見		所見		所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に設定した目標が達成されるように内容が設定されている。 4技能5領域の活動がバランスよく配置されている。 CAN-DOリストを示され、ゴールに向かって学習を進められるようにされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に設定した目標が達成されるように内容が設定されている。 4技能5領域の活動がバランスよく配置されている。 音声で十分に慣れ親しんだ英語と文字を結び付けられる内容があり、学習が円滑に接続されるようにされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に設定した目標が達成されるように内容が設定されている。 4技能5領域の活動がバランスよく配置されている。 児童が自らのゴールを設定し、見通しをもって学習を進めることができるようにされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に設定した目標が達成されるように内容が設定されている。 4技能5領域の活動がバランスよく配置されている。 各領域別に設定された目標をそれぞれ達成できるように内容を選択・配列されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に設定した目標が達成されるように内容が設定されている。 4技能5領域の活動がバランスよく配置されている。 相手に反応する言葉や思いやる言葉を学習できるようにしており、実生活の中の自然なコミュニケーションに近づけた内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に設定した目標が達成されるように内容が設定されている。 4技能5領域の活動がバランスよく配置されている。 	
取人権の扱い	<ul style="list-style-type: none"> 教材内容や文章、写真、挿絵などが、人権尊重の観点から配慮されている。 世界のさまざまな国の人物、男女のバランスにも配慮されている。 障がいの有無に配慮したイラストや写真を取り入れている。 		<ul style="list-style-type: none"> 教材内容や文章、写真、挿絵などが、人権尊重の観点から配慮されている。 世界のさまざまな価値観の違いを認め合えるような多文化・異文化理解の資料がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 教材内容や文章、写真、挿絵などが、人権尊重の観点から配慮されている。 異なる文化的背景を持つ人物をメインキャラクターとして、彼らの生活や考えに触れることで、互いを尊重し合うこと、多様な価値観を受け入れることの大切さに気付けるように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 教材内容や文章、写真、挿絵などが、人権尊重の観点から配慮されている。道徳と関連性が高い構成となっている。 ジェンダー平等についても理解が深められるように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 教材内容や文章、写真、挿絵などが、人権尊重の観点から配慮されている。 世界の12人の実際の小学生が登場し、性別、人種、身体的特徴などによる極端な偏りが無いよう配慮されている。 人権教育に関する専門家や、外国人児童生徒教育に関する専門家の校閲を受けたことが明記されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 教材内容や文章、写真、挿絵などが、人権尊重の観点から配慮されている。 服や持ち物の色、社会的役割に対して性別による固定概念を植え付けないように配慮されている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> 2学年のテーマを緩やかにつなぎ、言語材料を系統立てて繰り返し配列で、複式学級など異学年が学び合う良さを活かしたつくりになっている。 単元を盛り込み過ぎず、言語材料も学年に応じて改編されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 小学校中学年、中学校で使用される教科書に則して言語材料が精選されている。 鉛筆で書きやすく、消しやすい用紙を使用している。 		<ul style="list-style-type: none"> 発信語彙と受容語彙の考え方が意識されており、発信語彙はチャンツで取り上げるなどして、繰り返し何度も触れられるように工夫されている。 各学年の冒頭や各Unitの冒頭で言語活動を通してそれまでの学習で育んできた力を確認したりするなど、中学年からの接続、5年生からの接続が円滑にできる。 		<ul style="list-style-type: none"> 各Lessonの題材内容については、児童の発達段階、興味・関心に配慮されている。 クラス内での自己紹介から学校や地域、国内海外へと、学年や単元が進むにつれて徐々に視点が広がっていくような構成になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 文字の学習では、スモールステップで学ぶ意欲を大切にしながら、中学校の学習にスムーズに移行できるよう配慮されている。 5年生では外国語活動で学習したことを復習し、6年生では中学校へのつながりに配慮している。 Picture Dictionaryに、中学年の学習の振り返りがある。 		<ul style="list-style-type: none"> 5年生後半から徐々に文字を読んだり書いたりする機会を増やし、中学校での学習にスムーズにつながるように配慮されている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 目的や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 4技能5領域に関する活動が系統的に取り上げられている。 発達段階に沿って、身近なことから徐々に視野を広げられるよう、5年生は「日本」、6年生は「世界」とテーマ別に構成されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 目的や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 4技能5領域に関する活動が系統的に取り上げられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 目的や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 4技能5領域に関する活動が系統的に取り上げられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 目的や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 4技能5領域に関する活動が系統的に取り上げられており、スモールステップを踏んだ配列になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 目的や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 4技能5領域に関する活動が系統的に取り上げられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 目的や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 4技能5領域に関する活動が系統的に取り上げられている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を思考ツールなどを使って整理することで、内容の定着をめざしている。 二次元コードを読み取ることで、映像や音声を活用した学習ができる。 書き込み可能なデジタルワークシートがある。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の成長や課題を確かめながら学習に取り組む工夫がなされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 単元のまとめにあたる活動では、既習表現を使って、思考力・判断力・表現力を働かせて活動するような課題が設定されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 1年間の学びの見通しを持ち、英語学習やコミュニケーションへの期待と意欲を高められるようにされている。 児童が活動やコラムを通して世界の子ども達の生活の様子にふれ、異文化に関心を広げたり、世界との一体感を感じたりしながら、英語学習への意欲を高められる。 		<ul style="list-style-type: none"> 2年間一貫した登場人物のストーリーや、多彩なチャンツなど学ぶ意欲を高める工夫がなされている。 コミュニケーションの目的や場面、状況が明確に設定されている。 各Unitは、基礎的な知識・技能の習得と活用から、思考力・判断力・表現力を養う言語活動へといたる学習の手順が分かりやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 音声中心の学びから始め段階的に文字の学習に取り組むことができるようになっている。 デジタル教科書では、児童の取り組みの様子を個々に確認することができるようになっている。 	
補足的な学習・発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードやデジタル教科書では、音声にアクセスでき、個別最適な学習や家庭学習等に活用することができる。 他教科、SDGsの観点に沿った学習活動が設けられている。 別冊のMy Picture Dictionaryで英語の音声や語への理解を深めることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードやデジタル教科書では、音声にアクセスでき、個別最適な学習や家庭学習等に活用することができる。 他教科、SDGsの観点に沿った学習活動が設けられている。 別冊のWord Bookで英語の音声や語への理解を深めることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードやデジタル教科書では、音声にアクセスでき、個別最適な学習や家庭学習等に活用することができる。 他教科、SDGsの観点に沿った学習活動が設けられている。 別冊のMy Dictionaryで英語の音声や語への理解を深めることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードやデジタル教科書では、音声にアクセスでき、個別最適な学習や家庭学習等に活用することができる。 他教科、キャリア教育、防災教育、SDGsの観点に沿った学習活動が設けられている。 小学校学習指導要領で示された以外の文構造が含まれる。 		<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードやデジタル教科書では、音声にアクセスでき、個別最適な学習や家庭学習等に活用することができる。また児童の学習の取り組みの様子を個々に確認することもできる。 他教科、キャリア教育、防災教育、SDGsの観点に沿った学習活動が設けられている。 紙面にある英語の箇所を読み上げ機能は、ネイティブのナレーターの朗読音声を収録しており、学習の参考にできる。 別冊のPicture Dictionaryで英語の音声や語への理解を深めることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードやデジタル教科書では、音声にアクセスでき、個別最適な学習や家庭学習等に活用することができる。また児童の学習の取り組みの様子を個々に確認することもできる。 他教科、SDGsの観点に沿った学習活動が設けられている。 	

道徳

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新編 新しい道徳	教育出版	小学道徳 はばたこう明日へ	光村図書	道徳 きみがいちばん ひかるとき	日本文教出版	小学道徳 生きる力	光文書院	小学道徳 ゆたかな心	学研教育 みらい	新版 みんなの道徳
項目	所見		所見		所見		所見		所見		所見	
目標・ 取扱い 内容	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が系統的に盛り込まれている。 安全教育、防災教育、家庭・地域とのつながりの教材も扱われている。 「考えよう」では、中心的な発問に◎や○がつけられており、考えが深めやすくなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が系統的に盛り込まれており、多様な教材と指導方法ができるよう配慮されている。 「考えよう・話し合おう」では、「教材との対話」「自己対話」「他者との対話」を意識して学習を深めることができる。 他教科と関わった教材や環境問題が取り上げられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が系統的に盛り込まれている。 主体的に学びに向かう力をはぐくむため「学びの流れ」や、学び合いができる場面の設定がわかりやすい。 「ぐっとふかめる」では、問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れ、深い学びができるような内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため適切な内容が系統的に盛り込まれている。 内容項目 ABCD がバランスよく設定されており、アイコンで、視覚的にも見やすい工夫がされている。 現代的課題が、教材として多く取り上げられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が系統的に盛り込まれている。 自らの関わりから、深く考えることができるよう取り扱われている。 物語教材や社会で問題になっている話、情報モラルなど様々な内容が充実している。 			
取 扱 権 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物、イラスト、写真ともに男女がほぼ均等であり外国人児童や障がいのある児童など多様な人々が描かれている。 人権尊重の観点から、文章、写真資料等が適切に取り扱われている。 いじめの場面を直接的に扱う教材と、間接的に扱う教材を組み合わせた「いじめユニット」がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の観点から、文章、挿絵、写真資料等が適切に取り扱われている。 ユニバーサルデザインフォントや人物キャラクター、写真、イラスト、性別の偏りがなく配慮されている。 SDGsに関する現代的な課題に向き合っている教材や資料がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の観点から、文章、挿絵、写真資料等が適切に取り扱われている。 観点マークは、色だけでなく形でも区別できるようになっている。 ハンセン病や人種差別など、様々な人権的配慮や社会問題を取りあつかっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の観点から、文章、挿絵、写真資料等が適切に取り扱われている。 登場人物の性別、国籍、ジェンダー・バイアス等、偏りがなく配慮されている。 学習したことを生かして、教材とSDGsの内容をつなげて考えられるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の観点から、文章、挿絵、写真資料等が適切に取り扱われている。 諸外国の文化に触れたり尊重したり、ともに親しむことにつながるよう配慮されている。 ユニバーサルデザインや、思いやりマークがあるなどの配慮が見られる。 			
発 達 段 階 へ の 考 慮	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階や特性を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。 全教材でデジタルコンテンツが記され、朗読、スライドショー（3年生以上）、紙芝居（1・2年生）が活用できる。 大判の紙面を活かした写真など動画と合わせて学習ができるよう扱われている。 「じぶんについて」では、個人やグループを通して、他者と気持ちを伝え合い、自分の良さを見つめる活動が取り入れられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 発達段階や特性を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。 体験的な教材、イラスト教材、漫画形式の教材など多種多様な教材を用いている。 学年が上がるにつれて、身近な社会問題から世界的な環境発展問題にいたるまでを取り上げている。 		<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じて、振り返りの形式を変えており、1年間見渡せる工夫がされている。 二次元コードから教材に関係した資料、動画、朗読等にアクセスできる。 「学びの記録」1年から4年生では、観点到達度を振り返る。（シール）があり、高学年では、自分の考えを一言感想として書き留めておくことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 道徳ノートは、別冊紙ノートとデジタルを選べることで全ての児童の学びを支えるものとなり、活用の幅が広がるよう配慮されている。また、発問例がなく、自由に活用できる構成されている。 デジタルコンテンツで朗読、音声、画像、アニメーション、動画等があり、豊富に活用できるようになっている。 1年生では、小学校の学習への移行がスムーズにできるための、どうとくの扉や目次などイラストや写真を中心としてわかりやすく関心が持てるようになっており、高学年になると視野を広げられるような教材が増えてくる。 		<ul style="list-style-type: none"> 発達段階や特性を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。 自分の「心の力」について考えられるよう全学年にレジリエンスコラムを設けている。 書体がユニバーサルデザインフォントになっており、低学年は絵振り仮名、高学年は当該学年以上の漢字に読み仮名がふられている。 			
組 織 ・ 配 列	<ul style="list-style-type: none"> いじめ、いのち（生命尊重）、自分（自己肯定感）の3つのユニットを全学年同時期に配当されている。 児童の考えを誘導しない表現や価値に迫りやすい場面絵の追加がされている。 4つの内容項目に色分けして記されておりバランスよく配置されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 時期を考えた教材構成や配列の工夫がされており、「まなびのチェック」「学習を振り返ろう」が新設された。また、資料の充実にも工夫されている。 コラムと巻末資料や「まなびのリング」でアクセスでき、学習意欲の喚起につなげている。 		<ul style="list-style-type: none"> 全学年を通して、オリジナル書体や文節の区切りの改行、挿絵に登場人物名を添える等のユニバーサルデザインとなっている。 いじめ、情報モラル、環境、共生の4つをテーマに教材とコラムで掲載している。 道徳の学びの土台をつくる。教材への向き合い方のヒントを記載している。 		<ul style="list-style-type: none"> いじめ、情報モラル、SDGs、多文化共生、自己肯定感の5つのテーマが全学年に系統的に配列されている。 保幼小連携の観点から、1年生は1学期の道徳とびらやイラスト、写真を中心に道徳への興味関心を高めるような工夫がされている。さらにノートは文字の記入を避けた負担軽減がされている。 6年間の学びを系統立てて組織するとともに、中学校への橋渡しになるような教材を設定している。 		<ul style="list-style-type: none"> 全学年、巻頭に「ゆたかな心」「道徳の時間はこんな時間です」のページがある。 4種類のアイコンで内容項目の視点を分かりやすく表している。 全ページ、カラーユニバーサルデザインで配色されており、形状の工夫がされている。 			
学 び 方 の 工 夫	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードにより朗読音声や紙芝居、動画などを掲載することで個別最適な学びを充実させるとともに、「問題を見つけて考えよう」において協働的な学びが充実するように工夫されている。 深い学びを実現するために思考ツールの紹介や切り取って使用できる「心情円」の付録がある。 子どもの成長が見えるアンケートフォーム等、自分の考えを可視化できる工夫がされている。 		<ul style="list-style-type: none"> AB判となっており、表紙を開くと健やかに成長していく児童の姿を1枚の絵で表現している。 思考ツールやワークシート、心のバロメーター等の教材補助が指導者用デジタル教科書にある。 SNSへ個人情報を上げる危険性をマンガ風によりわかりやすく取り扱っている。 		<ul style="list-style-type: none"> 思考ツールや役割演技の手順等考えを引き出し深めていく様々な手立てを「考えるヒント」に示されている。 机上に収まりやすいB5判となっている。 対話の方法が明記されている。 マンガ風の読み物や写真が多く、親近感がある内容で読みやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 「道徳箱」という共通アイテム「心情メーターシンキングツール・ワークシート」が全学年全教材に搭載されている。 AB判で教科書、道徳ノートの2冊構成になっている。 「話し合ってみよう」「動いてみよう」「書いてみよう」のデジタルコンテンツ活用により視覚的にとらえられるよう工夫され自ら考え議論できるようになっている。 新型コロナウイルスに関する教材を取り上げるなど、身近に感じている内容から教材の内容項目に迫れる工夫が見られる。 		<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードのついた教材には、写真や動画、Webサイト、登場人物のメッセージ等、学習効果を高めるよう工夫が見られる。 別冊A4大判の道徳ノートは、方眼で心情円盤がある。 多面的・多角的に考えられるような思考ツールがある。 			
発 展 的 な 学 習	<ul style="list-style-type: none"> 「つながる・広がる」が記載されており他教科とつなげたり、普段の生活に広げたりできるよう発問が用意されている。 「演じて考えよう」では、友だちが演じるのを見ながら考えをまとめられるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 教材の後ろに「考えよう」と示されており深めるための発問が用意されている。 まなびリンクでは学習に役立つ情報が利用でき、タブレット端末の使い方やQRコードがついており、学習に活かすことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 保護者と考える事柄には、家庭との連携マークが印されている。 「つなげよう」では、学習の後、今後に活かせる内容のものや、書籍等に結びついて考えさせる内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 巻末には、保護者向けのメッセージが示され、道徳ノートは家庭での活用もできるように工夫されている。 教材に関連したコラムや資料があり、学んだことを自己の課題として心にとめて考えられるよう配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 全学年巻末に「学びの足あと」が折り込み式で扱われている。 「みんなで作ってみよう」では、体験的な活動を通して友だちとの良い関係作りが考えられるようになっている。 			

児童生徒の実態により、下学年、文科省著作の教科書では指導が困難と判断致します。

つきましては、学校教育法附則第9条による教科用図書として下記一般図書を採択下さいますよう宜しくお願い致します。

(小学校)

児童名	学年	教科	文字サイズ	理由	備考
-	-	-	-	-	-

(中学校)

生徒名	学年	教科	文字サイズ	理由	備考
A	2年	国・数理・英	22pt	<p>本生徒は生まれた時に未熟児網膜症と診断され、定期的に通院を続けている。直近のWISC-IV検査では、読みとばしや行とばし、誤理解、文字のはみ出しなどの読文書字に課題が見られた。</p> <p>本生徒の視機能の課題を勘案し、より学習効果の向上が期待できると考え、昨年度に引き続き、拡大教科書の使用を希望するものである。</p>	
B	1年	国	22pt	<p>令和元年に行ったWISC-IVやK-ABC IIの検査では、読み書きにおいて学習の遅れが確認できた。特に文字を認識することに課題がある。デジタル機器や拡大コピーなども併用しながら、拡大教科書の使用し、より学習効果の向上が期待できることから、その使用を希望するものである。</p> <p>本生徒の視機能の課題を勘案し、より学習効果の向上が期待できると考え、小学校に引き続き、拡大教科書の使用を希望するものである。</p>	